

# 鋼少数主桁橋の床版下面の吹付コンクリートはく離・落下事象 調査検討委員会

## 【第1回議事要旨】

■委員会として、今回の事象に関して事実関係を確認した。

- ・吹付による増厚部分のコンクリートが床版との一体性を失って落下した。
- ・一体性を失った原因については、引き続き調査が必要。

なお、構造的には、付着と機械式アンカーで固定されていた。

- ・床版はじめ橋梁本体に影響のある損傷は確認されなかった。

■委員会として、設計、施工、維持管理の経緯について確認したが、原因の特定にはさらに調査、整理が必要である。

■今回の審議を踏まえ、落下メカニズムについても、特定にはさらなる調査、検討が必要である。

- ・なお、今回の不具合の生じた箇所の特徴としては、以下の点が挙げられる。

○床版下面増厚コンクリートが、特に厚い箇所

○高強度のコンクリートへ、金属系アンカーを用いて増厚した箇所

以上